

令和3年度第1回唐津市行政改革推進会議 会議概要

(令和3年10月20日開催)

1 議題

- (1) 唐津市行財政改革2021について
- (2) 峰市政2期目に求める行財政改革について

主な意見

- ・今回の行政改革推進会議はオンラインでの実施となっており、デジタル化を進めていくためにオンライン会議を進めていくことは大事だと思いますが、市民の理解を得るため、また情報発信のために会議を一般向けに公開していくことも大事だと考えます。
- ・育児や介護と仕事の両立を支援する体制を整備するため、時差出勤制度の本格的導入の検討や休暇制度の見直しと記載しており、R3～R6まで「検討」と記載してあるが、目的から判断すると、「検討」ではなく「導入」と記載すべきではないのか。
- ・時差出勤やテレワークを進めていくためには、まずはアンケート等を取り、どれぐらいニーズがあるのかどうか把握することも大事だと考えます。
- ・市民の全てが賛同するような改革はありえないと考えますので、議会の承認をいただいているのであれば、改革を進めていくことは大事だと考えます。そのなかでも、市民への情報発信と市民の理解を得る努力は引き続き続けていただくことは大事だと考えます。
- ・制度や計画を作ることは大事だと思いますが、それを実行することが大事だと考えます。
- ・公共施設が類似団体と比較すると非常に多いので、計画が出来ればそれに基づき実行していただきたいと思います。
- ・他市では、在宅勤務やテレワークを進める理由は、職員の負担軽減ではなく、災害時に市の職員が市役所に出勤できなくても仕事ができるようにといった考えで進めています。唐津市もその視点を取り入れると在宅勤務やテレワークが進めやすいのではと思います。
- ・人口が減っているなので、職員数の削減もしないといけないとは思いますが、地域のサービス低下防止を考えると難しいところもあるのかと思います。
- ・現在の行政改革推進会議は6名で構成されていますが、唐津市行政改革推進会議の設置要綱では、委員は12人以内となっています。多くの市民の理解を得るためには、多くの人に参加していただき、唐津市の現状や取り組みを理解していただくことが大事だと考えますので、委員の数を増やすことも考えたほうが良いのではと思います。

2 今後の対応

- ・会議の結果は市のホームページで公表するとともに、関係各課と共有し、今後の取り組みの参考とする。